

平成26年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 仙台リバーズネット・梅田川		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 副代表（企画担当）芳賀 崇 TEL・Fax：022-717-5397 E-Mail：thaga2010@hotmail.co.jp	
代表者氏名 石川 治		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】	
部門名 広報部門		事例名 『南蒲生お助け隊』見参！	
事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい） 弊グループは身の周りの水環境の再生保全を目的とし、雨水の利活用の啓発活動を行っている。東日本大震災にて壊滅的な被害を受け、薬剤のみの簡易処理にて海に放流せざるを得ない状況になった「南蒲生浄化センター」の状況を多くの一般市民並びに事業者は知ることなく、震災前と同じように汚水を流していた。この緊急時こそ市民に下水道に関心を持って貰えるチャンスと考え、下水道に関する啓発活動を目的とした事業、しかも市民に親しみを持って貰えるようなネーミングをした「南蒲生お助け隊」を立ちあげた。			
【南蒲生お助け隊の行動】・・・≪“関心ないところに、行動起きず”≫ ◇下水道に関心を持って貰えることを目的とした資料『下水道よもやま広場』制作。 唯でさえ関心の薄い下水道、子供から大人まで興味を持って貰えるよう配慮。 ①専門的内容・表現は回避 ②生物が主役の汚水浄化過程 ③下水道の歴史・遺構紹介 ④市民から募集した川柳等々 ◇制作した資料を使用した『下水道講座』の開催。 被災した南蒲生浄化センターでの現地見学を入れた講座を含め、2講座約70名の参加を得る。 ◇市内の各所にて開催の各種イベントに参加、資料の配布と共に南蒲生の状況並びに下水道を使用する市民のマナーを訴える。（平成25年度実績：5ヶ所、約100名の参加を得今後継続実施） [下水道使用上のマナー] “マヨネーズ、下水管まで、メタボに！” ・トイレの二度流しは止め、節水第一。 ・水切りネット等にて台所から固形物を流さない ・トイレットペーパーは再生紙使用。 ・シャンプー・洗剤等の使用量は規定量厳守。 ・油類はキッチンペーパー等で拭き取り下水に流さない。			
◇雨水の利活用の啓発活動 現在も旧市街地で供用されている合流式下水道の弊害（雨水の下水処理量の増加・越流水による河川水汚染）対策として、雨水貯留・浸透施設の啓発・普及活動を実施。 雨水貯留施設（天水桶）については、仙台市と提携した「天水桶手作り講座」を毎年開催、18回を数え延約900人ももの参加者を得ている。 今回は講座内にて雨水貯留・浸透施設の設置が下水道負荷軽減になることを、パネル等にて解説。			
【南蒲生お助け隊の行動評価】 多くの市民行動の具体的な変化までには至っていないが、接した参加者の大半が蒲生の状況に大きな衝撃と関心を持たれ、今後下水道との付き合いの面に効果が期待できる。 （今後は家庭との直結が期待できる町内会を主要ターゲットにした活動に注力）			
エントリー事例の特徴 官指導的なライフラインの諸対策の啓発活動を、より市民目線にて、市民団体が実施した。			

